

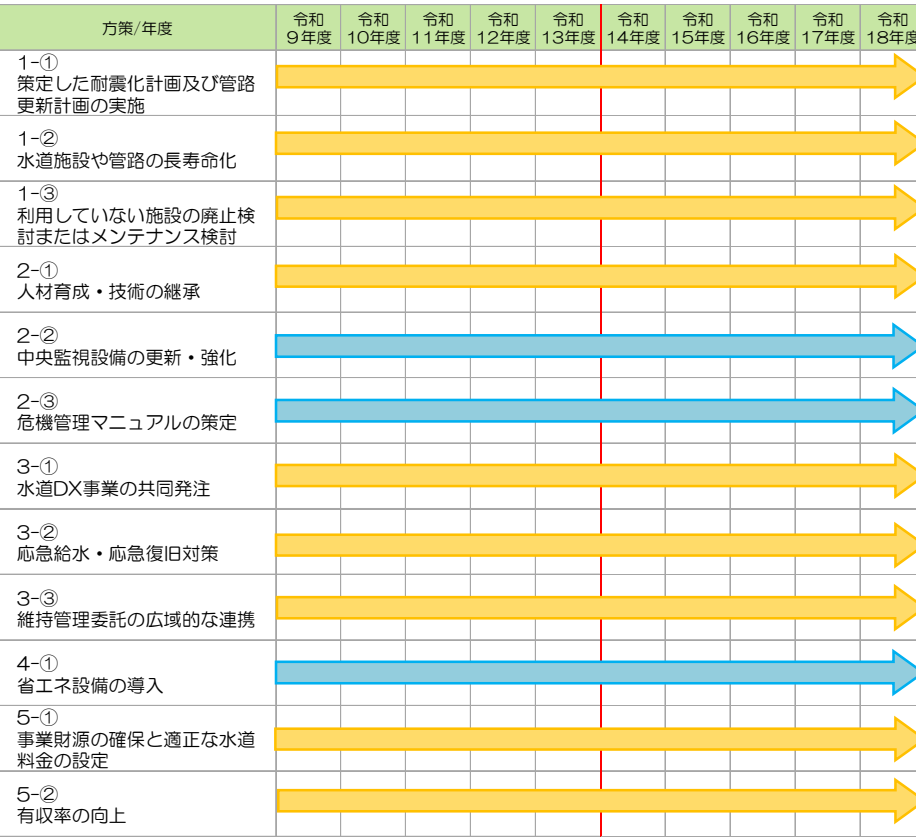
会津美里町水道事業ビジョン（案）に関する修正意見について

《水道事業運営委員会委員》

頁 行	意見等の概要	意見等に対する 町の考え方	修正内容
3 頁 3 行目	「・・・整合を図り、」の後に「水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも誰でも合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道」を挿入してはどうか。	国の新水道事業ビジョンにおいても指摘される内容であり、追記します。挿入場所については、水道ビジョンの理想像（P37）に追加します。	（P37 中段）※理想像のページに追加 「私たちにとって望ましい水道とは、時代や環境の変化に的確に対応しつつ、水道基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道といえます。」を追加しました
8 頁 「3 給水普及率」 の 3 行目	「井戸の水質は地表面からの影響を受けやすいことから、浄水水質が安定している水道への加入を町では推進しています」を、「町といたしましては、井戸の水質が地表面からの影響を受けやすいことから、浄水水質が安定している水道への加入を促進しています」にしてはどうか。	ご指摘の内容をもとに、右記のように修正しました。	「町では、井戸の水質が地表面からの影響を受けやすいことから、浄水水質が安定している水道への加入を推進しています。」に修正します。
31 頁 1 段目	30 頁と同じ文言にすべき。 「配水管網の更新・耐震化」	ご指摘の通り修正しました。	ご指摘の内容を修正するとともに、30 頁の図 3-11 と、31～33 頁の方策名を一致させました。
40 頁 6 行目	「令和 7 年度から令和 11 年度の 5 年間で・・・」で、何をするのか不明です。	ご指摘を踏まえ、その段落について内容を修正しました。	「令和 6 年度に策定した「会津美里町上下水道耐震化計画」を基に、避難所等の重要施設に接続する耐震化されていない上下水道管路について、今後概ね 20 年間で耐震化を完了することを目指します。」と修正しました。

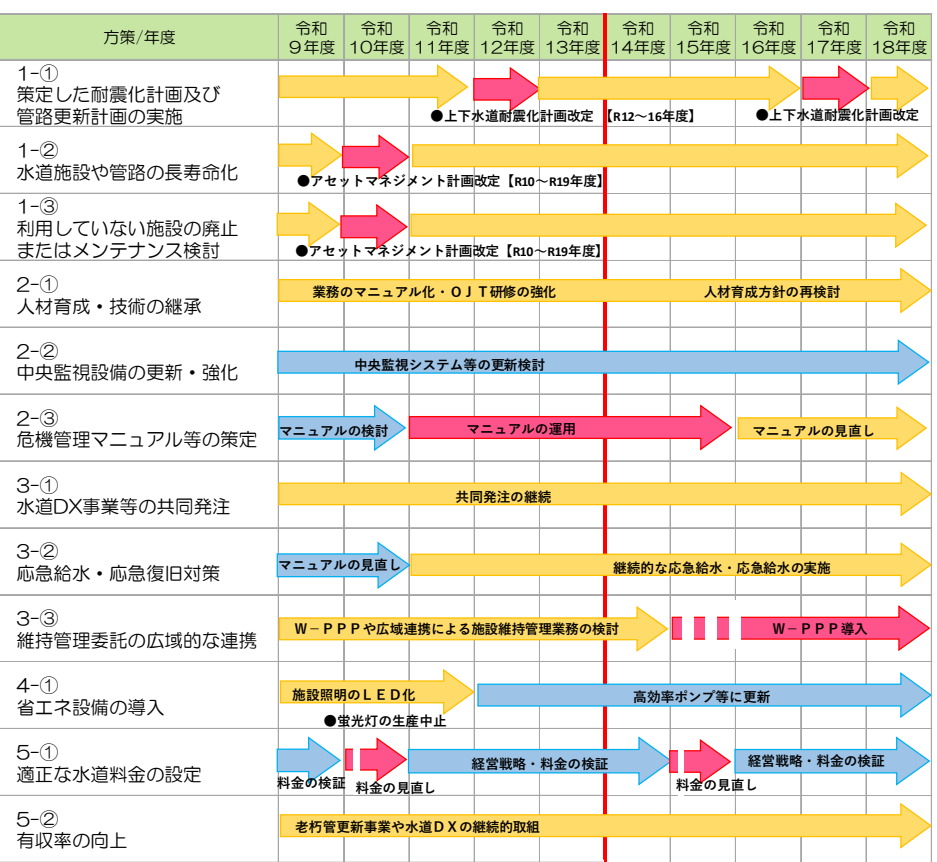
頁 行	意見等の概要	意見等に対する 町の考え方	修正内容
44 頁 表5-1	表全体で、継続的取組・準備検討期間が不明確。 継続的取組・・・イベント・達成項目などあったら記載して欲しい。 準備検討期間・・・いつまで検討するのか、期限を明記して欲しい。 40 頁から具体的な方策が示されていることから、継続してビジョンの計画期間に取り組むことは理解できるが、前のビジョンを総括して、それぞれの方策の具体的な取組を明示した方がよい。 例) ・ 耐震性のない石綿管更新計画 ・ 水道料金の見直し・改定の時期など	ご意見をもとに、スケジュール表を可能な限りメリハリをつけるとともに、トピックとなるような計画策定期間、料金改定期間などを視覚的にわかりやすくするように修正しました。一方で、計画期間中に継続的な取組が必要なものについては、説明の一文を追記しました。	※次頁を参照
-	人口減少等により水道事業の事業環境が厳しくなる中、持続可能な水道事業の運営を目標に各種施策が検討されていますが、事業財源確保の一環として余剰資金（現預金）の運用は検討しているのでしょうか。 「金利のある世界」となったことで、県内自治体の中には安全性の高い債権等（国債・国庫短期証券）による運用を開始している自治体も増えており本事業においても検討すべきと考えます。	水道事業の現預金については、一部定期預金に預け入れをしており、ご指摘の運用については、他町村の状況についても調査し、本事業においても実現性について研究していきます。	変更なし

P44 表5-1 変更前



フォローアップ

P44 表5-1 変更後



フォローアップ

→ : 準備検討期間 → : 開始時期 → : 継続的取組